

患者の皆様へ

2019年6月18日

呼吸器外科

現在、呼吸器外科では、「大腸がん肺転移に対する根治を目指した肺転移切除術の評価指標としての Time to incurable recurrence の検討」を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では、1990年1月1日～2018年12月31日に当院で、大腸癌肺転移に対して肺切除術を施行された患者さんの、診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「大腸がん肺転移に対する根治を目指した肺転移切除術の評価指標としての Time to incurable recurrence の検討」

2. 研究の意義・目的

転移性肺腫瘍に対する肺切除術は標準治療の一つとして行われており、その治療成績は全生存（5年生存率など）で示されることがほとんどです。肺転移に対する肺切除術は基本的に根治を目指して行われるものであり、根治が得られなくても全身化学療法にて長期生存が得られる場合もあり、手術の有効性を示すにはよりよい指標が必要であると考えます。今回根治不能な再発までの生存（Time to incurable recurrence）という指標が大腸癌肺転移切除例において有効かどうかを、転移性肺腫瘍研究会データベースを用いて検証するという目的で本研究を計画しました。各施設の患者様のデータは匿名化されて、栃木県立がんセンターに送られ、解析されます。

3. 研究の方法

カルテから転移性肺腫瘍に対して肺切除を施行された患者さんの、術前・術後情報、手術情報などの診療情報を収集して使用します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器外科教室の鍵のかかる棚、および

インターネットに接続していないコンピュータで保管します。

5. 外部への試料・情報の提供

得られた診療情報は、千葉大学にて氏名・生年月日・住所などを匿名化した上で管理し、研究代表者である栃木県立がんセンター呼吸器外科 松隈治久医師に報告し、統合されます。

6. 研究組織

共同研究施設は以下のとおりです。

施設名	科名	実施責任者
がん研有明病院	呼吸器外科	奥村 栄
慶應義塾大学医学部	呼吸器外科	浅村尚生
東京都立駒込病院	外科	堀尾裕俊
埼玉医科大学総合医療センター	外科	中山光男
千葉県がんセンター	呼吸器外科	飯笹俊彦
千葉大学大学院医学研究院	呼吸器病態外科学	吉野一郎
東京医科大学	呼吸器外科	池田徳彦
東京大学医学部	呼吸器外科	中島 淳
栃木県立がんセンター	呼吸器外科	松隈治久
獨協医科大学	呼吸器外科	千田雅之
浜松医科大学	外科学第一講座	船井和仁
結核予防会 複十字病院	呼吸器外科	白石裕治
防衛医科大学校	呼吸器外科	尾関雄一
杏林大学医学部	呼吸器・甲状腺外科	呉屋朝幸
東邦大学医学部	外科学講座呼吸器外科学分野	伊豫田明
国立病院機構 東京医療センター	呼吸器科	加藤良一
埼玉県立がんセンター	胸部外科	秋山博彦
長岡中央総合病院	呼吸器外科	古屋敷 剛
山形県立中央病院	呼吸器外科	塩野知志
君津中央病院	呼吸器外科	飯田智彦
日本海総合病院	呼吸器外科	金内直樹
大阪大学大学院医学系研究科	呼吸器外科	新谷康
愛知県がんセンター中央病院	呼吸器外科	坂尾幸則

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づい

て掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院呼吸器外科

医師 吉野一郎、和田啓伸

043(222)7171 内線6454

研究代表機関 : 栃木県立がんセンター呼吸器外科

研究代表者 : 松隈 治久